９　外国語

指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	異文化理解	2	第２学年	ATLANTIS Hybrid English Communication Ⅱ Advanced 副教材　ATLANTIS Hybrid English Communication Ⅱ Advanced Workbook

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅱの授業では、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能をさらに向上させていきます。そのため、聞いたり読んだりして得た本文の内容をメモにまとめ、それを基にストーリーリテリングする言語活動を毎レッスン終了ごとに行います。自分で情報のタイプを分類し、重要な情報を選んでメモにまとめ、それを基に再話をする練習を積極的にしていきましょう。

・単語を正しく発音できるということはとても大切です。正しい発音とアクセントを心がけましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：「異文化理解」（２単位）及び「ライティングスキルズ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
・英語の個々の単語を正しく発音し、また内容にあわせて聞き手に伝わりやすく話すことができる。 ・聞いたり読んだりした内容について、自分の言葉で概要を話すことができる。	リテリング スピーキングアクティビティ	・聞いたり読んだりしたことや身近な話題について、具体例や理由を含んだ文章が書ける。	エッセイライティング 定期考査	・聞いた情報の概要や要点を捉えることができる。	リスニングテスト 定期考査	・幅広い話題について短時間で概要や要点と、その情報や内容の詳細や具体例を捉え、情報の種類に応じたメモにまとめることができる。	確認テスト 定期考査

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (5 時間)	・通貨の流通について学び、価値観の違いを知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「英語表現の能力」			
		・お金についての意見を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、自分の考えについて話す。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、自分の将来の夢について伝え合う。	・お金についての意見を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、自分の考えについて話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		(本単元では設定しない)	・ワークシート を利用して、セクションごとに概要を把握する。	(本単元では設定しない)	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		未来のことをあらわす仮定法 If 節の代用 as if/as though を使った仮定法	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	未来のことをあらわす仮定法 If 節の代用 as if/as though を使った仮定法 の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 2 (5 時間)	風光明媚な観光地がどのように環境保全に取り組んでいるかを学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・観光名所について知っている情報を、間違うことを恐れず、積極的に話す。	・新出語句の音読練習後、内容理解のための設問を英問英答でチェックする	・観光名所について知っている情報を、間違うことを恐れず、積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・興味をひかれた観光名所について、適切に書く。	・セクションごとに、興味をひかれた観光名所について、ワークシートに英語で書く。	・観光名所について、適切に書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・コモ湖の保全活動について、読んだことを理解する。	・セクションごとに本文を読み、その内容を理解する。	・コモ湖の保全活動について、読んだことを理解する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		It seems that/seems to be 強調構文 形式目的語の it	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	It seems that/seems to be 強調構文 形式目的語の it の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (5時間)	宇宙の大きさや形について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		(本単元では設定しない)	・ワークシートを利用して、セクションごとに宇宙についてのブレインストーミングをペア・ワークで行う。	(本単元では設定しない)	
		「英語表現の能力」			
		・宇宙についての説明を読み、その内容について、簡潔に説明する文章を書く。	・ワークシートを用いて、宇宙について簡潔に説明する文章を書く。	・宇宙についての説明を読み、その内容について、簡潔に説明する文章を書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・宇宙についての説明を読んで、その特性に関する情報の概要や要点を捉える。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、宇宙について読み、イメージとともに、その内容を理解する。	・宇宙についての説明を読んで、それに関する情報の概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		It is thought (to be/to have been) 関係副詞how, why 関係代名詞that	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	It is thought (to be/to have been) 関係副詞how, why 関係代名詞that の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 4 (5 時間)	アメリカへの移民の歴史について学び、彼らの苦境を知りアメリカ社会について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・セクションごとに、本文の音声を聞き、事実と筆者の考えを区別して、ワークシートにメモする。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		(本単元では設定しない)	・ワークシートを利用して、移民についての対話をペア・ワークで行う。	(本単元では設定しない)	
		「英語理解の能力」			
		・移民についての自分の考えと、筆者の考えを区別して聞く。	・セクションごとに、本文の音声を聞き、事実と筆者の考えを区別して、ワークシートにメモする。	・移民に関する事実と、筆者の考えを区別して聞くことができる。	・定期考査のリスニングテストにおいて、事実と考えを区別して聞き取れているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		動名詞の意味上の主語 比較級+SV 分詞構文、過去分詞	・本文の内容を聞き取る際に必要な文化的背景をワークシートにメモを取りながら理解する。	動名詞の意味上の主語 比較級+SV 分詞構文、過去分詞 の使い方を理解している。	・定期考査のリスニングテストにおいて、文化的背景をもとに、正しく聞き取れているかを判断する。

Lesson 5 （ 5 時間）	4人の職業を例として、それぞれの職業のよい点、悪い点について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・間違うことを恐れず、積極的に職業についての情報や考えについて話す。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらグループで伝え合う。	・間違うことを恐れず、積極的に職業についての情報や考えについて話している。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて、職業についての情報や考えなどを、聞き手に伝わるように話す。	・職業について、データや数値などの情報を再話し、自身の考えなどを、グループで互いに発表しあう。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、職業についての情報や考えなどを、聞き手に伝わるように話すことができる。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・つながりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握する。	・つながりを示す語やフレーズをたよりに、論理の展開を読み取る。	・つながりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握することができる。	・定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		仮定法現在 不定詞の受身 動名詞の受身	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	仮定法現在 不定詞の受身 動名詞の受身 の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 6 （ 5 時間）	兄弟の順番が人格形成に及ぼす影響を考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・間違うことを恐れず、積極的に生まれた順番についての情報について話す。	・ワークシートを利用し、キーワードをもとに各写真を示しながら歴史について簡単な英語で説明する。	・間違うことを恐れず、積極的に生まれた順番についての情報について話している。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・生まれた順番についての説明を読んで、写真を示しながら説明し、事実と自分の考えを区別して話す。	・生まれた順番について筆者の考えを説明し、自分の考えを話す。	・生まれた順番についての説明を読んで、写真を示しながら説明し、事実と自分の考えを区別して話すことができる。	・授業時間を利用してリテリングテストを実施する。
		「英語理解の能力」			
		・生まれた順番について、写真を示しながら説明されていることについて、読んだことを理解する。	・関連した画像などを見ながら、生まれた順番について読み、イメージとともに、その内容を理解する。	・生まれた順番について、写真を示しながら説明されていることについて、読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		完了の分詞構文 複合関係詞 不定詞の意味上の主語	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	完了の分詞構文 複合関係詞 不定詞の意味上の主語 の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

Lesson 7 （ 5 時間）	瀬戸際に立たされるトラ 絶滅危惧種について直面する問題 がるまなびに学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・間違うことを恐れずに絶滅危惧種についての情報や考えについて話す。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらグループで伝え合う。	・間違うことを恐れず、積極的に絶滅危惧種についての情報や考えについて話している。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて、トラについての情報や考えなどを、聞き手に伝わるように話す。	・トラについて、データや数値などの情報を再話し、自身の考えなどを、グループで互いに発表しあう。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、トラについての情報や考えなどを、聞き手に伝わるように話すことができる。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・つながりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握する。	・つながりを示す語やフレーズをたよりに、論理の展開を読み取る。	・つながりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握することができる。	・定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		be 動詞＋to 不定詞 二重否定 独立分詞構文	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	be 動詞＋to 不定詞 二重否定 独立分詞構文 の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 8 （ 5時間）	カタカナ語の問題点について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・間違うことを恐れず、積極的に外来語についての情報について話す。	・ワークシートを利用し、キーワードをもとに各写真を示しながら歴史について簡単な英語で説明する。	・間違うことを恐れず、積極的に外来語についての情報について話している。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・外来語についての説明を読んで、写真を示しながら説明し、事実と自分の考えを区別して話す。	・外来語の由来について説明し、自分の考えを話す。	・外来語についての説明を読んで、写真を示しながら説明し、事実と自分の考えを区別して話すことができる。	各パートの内容をキーワードを与えて口頭でリテリングさせる。
		「英語理解の能力」			
		・外来語について、写真を示しながら説明されていることについて、読んだことを理解する。	・関連した画像などを見ながら、外来語について読み、イメージとともに、その内容を理解する。	・外来語について、写真を示しながら説明されていることについて、読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		助動詞＋have＋過去分詞 未来進行形 未来完了形	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	助動詞＋have＋過去分詞 未来進行形 未来完了形 の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

Lesson 9 （ 5 時間）	感謝の気持ちを伝えるのに幸せな人間関係を持つのに必要な習慣について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・間違うことを恐れず、積極的に自分の考えについて話す。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらグループで伝え合う。	・間違うことを恐れず、積極的に自分の考えについて話している。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて、幸せの定義についての情報や考えなどを、聞き手に伝わるように話す。	・幸せの定義について、本文の内容を再話し、自身の考えなどを、グループで互いに発表しあう。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、幸せの定義についての情報や考えなどを、聞き手に伝わるように話すことができる。	各パートの内容をキーワードを与えて口頭でリテリングさせる。
		「英語理解の能力」			
		・つながりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握する。	・つながりを示す語やフレーズをたよりに、論理の展開を読み取る。	・つながりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握することができる。	・定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		動名詞の完了形 付帯状況を表す with A B 過去完了進行形	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	動名詞の完了形 付帯状況を表す with A B 過去完了進行形 の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson１０ （ 5 時間）	日本人科学者大村智のとにて研究挑戦学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・間違うことを恐れず、積極的に本文の概要について話す。	・ワークシートを利用し、キーワードをもとに各写真を示しながら歴史について簡単な英語で説明する。	・間違うことを恐れず、積極的に本文の概要について話している。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・大村智についての説明を読んで、写真を示しながら説明し、事実と自分の考えを区別して話す。	・大村智の写真を示しながら、その歴史について説明し、自分の考えを話す。	・大村智の説明を読んで、写真を示しながら説明し、事実と自分の考えを区別して話すことができる。	各パートの内容をキーワードを与えて口頭でリテリングさせる。
		「英語理解の能力」			
		・大村智について、写真を示しながら説明されていることについて、読んだことを理解する。	・関連した画像などを見ながら、大村智について読み、イメージとともに、その内容を理解する。	・大村智について、写真を示しながら説明されていることについて、読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		無生物主語 倒置 間接話法	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	無生物主語 倒置 間接話法 の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。